

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 八田小中學校
南アルプス市立 八田小学校



大望の鐘

【学校教育目標】 豊かな心を持ち かしくく たくましい子どもの育成

令和3年6月14日 NO.4 校長 笹本 学

地域に支えられた教育活動

本校では2年生が生活科の学習の中で「地区探検」を実施しています。今年も5月18日と25日、それから6月1日の3日間で行い、八田地区内にある神社やお寺、公共施設やお店などを見学しました。

当日は、地域の方や公共施設の担当者の方から説明をしていただいたり、「オギノ」さんでは見学だけでなく買い物も経験させていただいたりしました。子どもたちにとっては、自分たちの生まれ育っている地域をより知ることができたり、社会性を身に付けたりするよい機会になったと思います。学習を進めるにあたりご協力いただいた地域の方や施設、店舗の方々には、子どもたちのために快く対応していただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、先週の6月8日には、5年生の総合学習で取り組んでいる「米」の学習の中で、田植えを行いました。米作りについては、本校の元校長先生の井上先生が講師を務めてくださっています。そして田んぼは、野牛島地区に住まわれている篠原様の田んぼを今年もお借りしました。

5月に井上先生の指導の下、塩水選別をしたもみをまき、学校で15cmほどに成長した苗をみんなで手植えをしました。

はじめて田植えを経験する子どもたちがほとんどで、田んぼに入ると泥に足を取られ、思うように動くことができず苦戦していましたが、井上先生や篠原さん、それにお手伝いに来てくださった方々の指導のおかげで、どうにか10列ほどを



植えることができました。終わった後には、篠原さんが用意してくださった水で手足の泥を洗い流し、天候にも恵まれたため、子どもたちも気持ちの良いひと時を過ごすことができました。

今回の「地区探検」、「田植え」とも本当に地域の方々の支えがあって実施できたものです。あらためて

感謝するとともに、地域の方の期待に応えられるよう子どもたちと教職員が丸となってすばらしい八田小学校にしていきたいと思えます。



コロナと熱中症 両方に注意した生活を

先週は最高気温が30℃を超える日があり、熱中症が心配される時期になりました。メールでもお知らせしましたが、登下校時暑くて息苦しい場合はマスクを着用しなくてもよいこと、帽子などを着用すること、適宜水分補給を行うことなど熱中症予防への対応をお願いしました。

また、新型コロナウイルスに関しても、山梨県ではクラスターが発生したため急増し、4日～11日までの1週間の10万人当たりの感染者数は沖縄県に次いで全国2位の状況です。

本校におきましてもこれまで行ってきたコロナ対策をより徹底させながら、熱中症対応も並行して行い、これまで以上に子どもたちの安全に注意して教育活動を実施していきますので、ご家庭におきましても、子どもたちの健康管理をお願いします。

なお、次の3点につきまして、改めて確認をお願いします。

- ① 発熱や風邪症状がある場合は、無理して登校せず、早めに受診してください。また、同居親族などの方に発熱や風邪症状がある場合にも、受診して感染していないことが判明するまで登校を控えるようご協力ください。
- ② 児童本人や同居親族などの方がPCR検査を受けることになった場合は、早急に学校へ連絡をいただくとともに、結果が出るまで登校を控えてください。
- ③ 児童本人や同居親族などの方が接触者となった場合にも学校へ連絡してください。状況によっては、登校を控えていただく場合があります。